



# 岩城少年自然の家だより



自然は友だち  
青い海原 緑の山なみ

のべ利用者数 (1983年6月～2024年1月) …1,129,294名  
令和5年度の利用者数(～1月末)…9,906名 (1月の利用者数…398名)

秋田県立岩城少年自然の家  
(ガンパル岩城) 2024.2.22

## 岩城少年自然の家の愛称 「ガンパル岩城」に！

岩城少年自然の家の愛称を選定し、2月7日(火)に実施の協働会議の中で委員の皆様にお諮りした結果、「ガンパル岩城」と決定いたしました。

岩城の「岩(ガン)」に、「自然は友だち」からpal(パル)を取ったもので、岩城少年自然の家は「みんなの友達」、「みんなで力を合わせて頑張ろう!」という意味が込められています。新愛称「ガンパル岩城」をよろしく願いたします。

# ガンパル岩城

## ファミリーキャンプ(冬)…ウインターファイヤー！

ファミリーキャンプ(冬)～寒さを吹き飛ばそう！岩城でウインターファイヤー！～が1月27日(土)～28日(日)におこなわれ、8家族27名の皆さんが参加しました。今年は例年になく雪が少ないため、心配いたしましたでしたが、実施数日前に雪が降り、計画通りに活動することができました。

1日目は、雪を求めて由利本荘市東由利地域の大平スキー場へ移動し、午前はスノーシュー体験、午後はそり遊びをおこないました。自然の家に戻って来てからは、ご家族ごとにきりたんぼを作り、きりたんぼ鍋にして冬の味覚を堪能しました。そして、夜は雪原でのキャンプファイヤーと炭火でのおやつタイムでゆったりとした時間を過ごしました。

2日目は、ラピュタパンを朝食につくり、その後、冬ならではの遊びとして、凧とミニ熱気球を制作して楽しみました。

参加者のご家族からは「今年は雪が少なくて、雪の遊びができていなかったが、子どもたちに体験させることができてよかった。」「キャンプファイヤーが楽しみで参加した。実際に体験して感動した。」「きりたんぼ作りを初めて経験した。家でも作ってみたい。」「2日間の活動を通して、家族の絆を深めることができた。」などの感想をいただきました。ありがとうございました。

来年度は、5月のファミリーキャンプ(春)から4回実施する予定で計画を進めております。ご期待ください。よろしく願いたします。



# おとなの遠足（冬）…にかほ市のジオパークを巡る

2月10日（土）に、おとなの遠足（冬）～冬の元滝観賞・九十九島周辺の散策・蚶満寺の七不思議を探る～がおこなわれ、18名の皆さんに参加いただきました。当日は鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会からジオガイドを派遣していただきました。

午前は、元滝伏流水ヘトレッキングをおこないました。道の駅象潟で昼食をとり、午後は蚶満寺を訪ね、九十九島の成り立ちや芭蕉の木、千体観音、句碑、菩提樹の木など蚶満寺の七不思議に迫りました。

参加者からは、「ガイドのお話をうかがい、深く知ることができた。」「ガイドさんのユーモアある案内で楽しい時間を過ごすことができた。」「蚶満寺は小学校の遠足以来に訪ねることができた。」などの感想をいただきました。ありがとうございました。



## 第2回協働会議…今年度・来年度の運営が審議される



2月7日（水）に、8名の委員と県教育庁生涯学習課職員にご出席いただき、令和5年度第2回岩城少年自然の家協働会議が実施されました。会では令和5年度・令和6年度の運営について審議され、貴重なご意見をいただきました。今後の運営に反映させてまいります。

## 鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会と連携協定締結

2月17日（土）に道の駅象潟の「にかほっと」で、鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会と岩城少年自然の家との連携に関する協定締結式が行われ、協議会長の市川雄次にかほ市長と本所所長が協定書を交わしました。今後の事業で連携、相互協力してまいります。



### 3月の予定

#### （出前講座）

木のおもちゃ館 3日（日）  
土崎カトリック学童クラブ 25日（月）

#### （主催事業）

オープンデー 17日（日）  
※創作活動、特別プログラムがあります。

秋田県は2020年以來の少雪で、スキー場や県内各地の伝統行事や雪のイベントが中止や内容変更を余儀なくされています。

さて、少年自然の家のある高台は渡り鳥が良く通り、観察しやすいのですが、今年の少雪は北帰行にも影響が出ているようで、1月30日にマガンと思われる一団が自然の家の上空を北に向かって飛んでいきました。今シーズンは短い冬です。（須田）



ホームページ



ホームページや  
Facebook  
Instagramで  
情報をチェック！



Facebook



Instagram